



(No.712. 2024.4.1)

カトリック田園調布教会報

☎03(3721)7271

〒145-0071 東京都大田区田園調布3-43-1

イエス・キリストのご復活おめでとうございます

助任司祭 アントニオ金東炫神父

「キリストは死者の中から復活し、すべての人が生かされることになった。」(コリント1:15, 22)

イエス・キリストのご復活おめでとうございます。

キリスト教の最も重要な概念である復活について聖書は、イエスが十字架の死の三日目に復活され、まず、死者の中から命をもたらされたと伝えていきます。これは私たちの罪と死に対する勝利をあらわすしるしで、十字架の死は、すべての人の罪の贖い、復活は、すべての人の救いをあらわします。

イエスの復活は単なる過去の出来事ではなく、永遠の現在として、信仰生活におい

て常に新たな意味を持ち続けなければならぬと教会はのべていますが、永遠の現在であるイエスの復活という出来事が、信じる人々の生活にどのような意味を持っているのでしょうか。

・イエスの復活はキリスト者の生活の希望となります。

イエスが死者の中から復活されたことによって私たちは自らの罪や苦難に打ち勝つ希望を持つことができます。この希望は、困難や試練に直面する時、心の支えとなります。

・イエスの復活は私たちに新しい命を与えます。

聖書は「洗礼によって、キリストと共に葬

られ、また、キリストと共に復活させられた」(コロサイ2:12)とのべています。

イエスの死と復活は罪の贖いだけでなく、新たな生活への招きとなります。

私たちは復活の恵みを受け、キリストとともに歩み、愛と真理の道を歩めるようになります。

・イエスの復活は新しい使命を与えます。

イエスは復活の後、弟子たちに「すべての民をわたしの弟子にし、父と子と聖霊の名によって洗礼を授け、命じたことを守るよう

に教えなさい」(マタイ28:19, 20)と命じられました。

・最後に、イエスの復活は永遠の命の約束となります。

イエスは自らの復活によって、私たちに永遠の命を与えると約束されました。この約

束は信仰の土台となり、地上の旅が終わった後、イエス・キリストとともに、聖徒の交わりに永遠に結ばれる者となります。言うまでもなく復活されたイエスは私たちの信仰の対象です。



この復活の季節、イエスと共にいる喜びを深く味わい、主イエスから与えられた使命を果たすことができるように歩みましょう。

イエスの復活を信じる一人ひとりの上に復活されたイエ・キリストの祝福が豊かに注がれますように。

二十歳の主日

一月七日の主の公現の主日に、「二十歳のつどい」が行われました。

竹内主任司祭司式による新成人十五名をお祝いするミサが行われ、信徒の皆様が見守る中、祝福を受けました。その後祝賀会を開催いたしました。

希望と夢にあふれる新成人が、これからも神様にお守りいただきお導きがありますようお祈りいたします。

教会委員会 K・Y



「感想文」

クリストファー H・S

私は小さいころから、教会のコミュニティに触れる機会に恵まれました。教会学校では多くのリーダーに支えられ、それが、ボランティアのメンバーとして奉仕する機会にチャレンジすることに繋がりました。

このボランティアは、アメリカで生活していた期間に、ホームレスに食事を配る活動でした。ホームレスがどういう人たちなのか、不安な気持ちで一杯でしたが、スープやサンドイッチを配布する仕事を担当し、ホームレスからの感謝の言葉や、ボランティアのリーダーから、自分の仕事を認めてくれる言葉をかけられたとき、自分がコミュニティの一員として認めてもらえたかもしれないという気持ちとともに、それが自分への自信を深めるきっかけにもなったと感じています。

成人式では、リーダーたちや教会の仲間たちから頂いた祝福の言葉が、私の心に温かい感動を呼び起こしました。他方で、これまでの歩みと、未来への不安が交錯する気持ちも感じました。改めて、共に歩んできた仲間たちとの絆、信仰の力、そして教会のコミュニティの温かさに触れ、改めて自分の信じる道を歩む勇気をもらいました。成人式を準備して頂いた多くのリーダーや、教会のコミュニティに、心から感謝しています。

最近は大学での忙しさや多忙な日々が続く中で、教会との繋がりを保つことは容易ではありませんが、成人式を通じて改めて感じた教会のコミュニティと繋がりの大切さ、またその温かさを心にとめ、これからも信仰と共に歩み、学んだリーダーシップの価値を大切に、教会のコミュニティへの感謝の気持ちを忘れずに、成長していきたいと思えます。



マリア・テレサ M・M

一月七日の二十歳のつどいに参加させていただきました。竹内神父様はじめ、会のためにご尽力くださった皆様に、心より感謝いたします。

幼い頃から通い、初聖体や侍者活動など共に過ごしてきた友人たちと、慣れ親しんだカトリック田園調布教会にて信徒の皆様に見守られて、成人の日を迎えられたことを大変うれしく思います。教会の活動に参加する中で、学校とは異なる学びを得てきました。

侍者活動は、現在も時々ご奉仕させていただいておりますが、神父様が楽しみながら参加できるような研修を開催してくれるなど、自ら進んで、参加できるように工夫をしてくださっていたことが思い出されま

す。
何事も臆せずに行動できるような基盤を作
つてくださったと思っております。

カトリック信徒であることで、他国の方とのつながりも深まり、多様な価値観についても考える機会を持つことができていま

す。
まだまだ学ぶべきことは多々ありますが、
成人を迎え、これまでの感謝を伝えると
もに、信徒の一人として世の中の役に立
てるよう励んで参ります。

この度は本当にありがとうございました。

マリア・テレサ R・M

二十歳のつどいに参加させていただき、
ありがとうございます。

竹内神父様はじめ、開催にあたりご準備く
ださった皆様に心より感謝申し上げます。

私はカトリック田園調布教会にて受洗、
初聖体に与り、幼い頃よりたくさん時間を
教会で過ごししてきました。侍者のご奉仕
では、最初は覚えることが多く大変でした
が、神父様、助祭や委員の皆様、先輩達に
教わりながら感謝の気持ちを持って奉仕で
きるようになりました。

教会の活動に参加する中で、学校とは異な
る友人も出来、幅広い学びを得てしまし
た。広い視野を持って、前向きに物事を捉
える力を与えてくださったのは、教会での
活動が大きいと感じています。

信徒の皆様へ成長を見守っていただき、慣
れ親しんだカトリック田園調布教会にて、

成人の日を迎えられたことを大変うれしく
思います。

今後も教会にはお世話になることと思いま
すが、成人を迎え、少しずつ私も恩返しが
できるよう努めて参ります。学びを深めつ
つ、世の中のために歩んでいきたいと思っ
ております。これからもどうぞよろしくお
願いいたします。



マリア・ミカエラ S・Y

この度は、「二十歳のつどい」の御ミサ
と祝賀会でお祝いをしていただきありがと
うございました。神父様、教会委員の皆さ
ま、これまでお世話になった教会の皆さま

や友人に心から感謝を申し上げます。
無事に成人の日を迎え、小さい頃からお世話になってる田園調布教会で「二十歳のつどい」の御ミサに与り心に残る時間を過ごさせていただきました。

私は竹内神父様が園長先生を務めていらつしやる小さき花の幼稚園に通っていたため、物心ついた頃から田園調布教会に通っております。七五三、初聖体、堅信式などを通してたくさんのお恵みをいただき、今回も二十歳という大きな人生の節目で竹内神父様の御ミサに与ることができ、非常に感慨深かったです。

「二十歳のつどい」では、今まで信仰を導いてくれた代母の祖母の振袖を着て、祖母と一緒に御ミサに与れたことも良い思い出となりました。

教会学校と侍者会に入っていたため、教会での思い出がたくさん残っております。御ミサの前に集まって侍者の練習をし、少

し緊張しながら御ミサで侍者をさせていだいた後、教会学校にも参加してお昼過ぎまで友人たちと遊んでいたのがとても懐かしいです。

大学受験前まで毎年クリスマスの御ミサにて、十数人のメンバーで侍者を務めていたことも印象深いです。今回の「二十歳のつどい」で、教会学校や侍者会のメンバーと久しぶりに再会し、話ができたことも嬉しかったです。

教会学校の卒業ぶりに会う友人もいましたが、同じ大学に通っていたり、同じスポーツをしていたりと共通する部分も多く、教会でできたご縁を今後も大切にしていきたいと感じました。

これからもお祈りと感謝の心を大切にし、思いやりと責任感のある大人を目指して精進してまいります。



クララ・セシリア K・K

人生の節目である二十歳のお祝いをしていただけことに感謝申し上げます。

この田園調布教会で行われる二十歳のつどいは、幼いころから年上の方々の晴れ姿を見るたびに、いつか自分もこんな風にお祝いしていただけたらどんな気持ちになるのだろう、と考えていました。

ミサの中で祝福を受け、普段からお世話になっている方々、初めてお話しする方まで

多くの方々にお祝いしていただき、とても嬉しかったです。

それは単に多くの人にお祝いをしていただいたからということではなく、自分が幼いころから通っている教会に神様のもと集まっている特別な場所で、そこに集う方々にお祝いしていただけたということに意味があると思つています。一日を通して暖かく幸せな時間を過ごさせていただきました。小学生のときに洗礼を受けてから二十歳になる今までの間、関わる形を変えながらも、この田園調布教会で過ごしてきた時間は私にとって大きな意味のあるものでした。

ゴミサにあずかることで出会う神様との時間だけではなく、教会という言葉がただ建物をさす言葉ではないように、人との出会い、喜び、自分自身の成長、他にも様々な形で神様からお恵みをいただけてきたと感じています。

特に教会学校での活動ではリーダーとして役割を果たす中にも多くのお恵みがあることに気づくことができました。

私がこの教会でこのようにお恵みを受けることができたのは、周りの方々のお支えがあったからこそのことだと考えています。

自分もこれから二十歳を迎えていく方たちにとって、暖かさを感じられる教会を作る一員になることができるよう、これからもこの田園調布教会のもとにありたいと、改めて神様から頂いた自分の使命を心にとめることができた時間でした。

信徒の皆様、二十歳のつどいを企画して下さった教会委員はじめ係の皆様、そしてミサを下さった竹内神父様、この度はこのような機会をいただき本当にありがとうございます。



クララ・セシリア N・H

この度「二十歳のつどい」というお祝いの会を設けてくださった皆様に心からお礼を申し上げます。ここまで導いくださった神様に感謝いたします。神父様、両親、お友達、全てに方に感謝の気持ちでいっぱいです。

私はここ田園調布教会で幼児洗礼を受け、教会学校でたくさんのお友達やリーダーに囲まれて育ちました。中学生の時に家族と共に引っ越し、その後戻って来ても忙

しく過ごす中で、なかなか教会へ来られず
にいました。今回久しぶりに田園調布教会
へ来て、神父様、なつかしいお友達、教会
の方々とお会いして、ここが私の教会だ、
もうひとつの家だと改めて感じました。

これからは教会を支える大人の一人とし
て、そして神様の道を歩む信者の一人とし
て、祈り、努力していきたいと思えます。

マリー・テレーズ N・Y

先日は二十歳のお祝いをして頂きありがと
うございました。幼い頃から先輩方の晴れ
姿を見ており教会で振袖を着ることが長年
の憧れだったためとても嬉しかったです。

これまで侍者会や教会学校、中高生会、お
洗濯やお掃除を通してたくさんの方々に見
守って頂きここまで過ごすことができました
。現在は、遠方の大学で一人暮らしをし
ているため、毎週日曜日に教会に通う生活

から一変し、教会や神様から離れてしまう
期間が多くなってしまうました。

そのような中でも、成人式でお会いした
方々から温かい言葉を頂き、私にとってか
けがえの無い居場所であると改めて実感い
たしました。

私は座右の銘を聞かれた時にいつも、霊名
であるリジューの聖テレジア様の「あなた
の使命は平和の天使であること。小さなこ
とに大きな愛を込めて」という言葉を答え
ています。

将来医師として働く時もそれ以外の時も、
周りの方へ思いやりを持って接していきたく
いと思えます。

教会委員の皆様を始め、二十歳という節目
をお祝いして頂き心よりお礼申し上げます。
これからもよろしく願いいたします。

図書室よりお知らせ

図書室は現在、毎月第一日曜日(九時から
十三時)だけ開けております。もう少し開け
られる日を増やしたいと思っております。
お手伝いくださる方を募集しております。
受付か図書係まで御連絡下さい。

図書係 I・J

【新着図書のお知らせ】

◎日本人と神 福田勲

◎イスラエル建国物語 メイヤ・ルヴィン著

岳直也・武者圭子訳

◎エロスと神と収容所 エティ・ヒレムス著

大社淑子訳

◎イエスの隠された生涯 マーク・タリー著

二宮啓訳

◎絵で見る日本の歴史 西村繁男 絵

◎放蕩息子の帰郷

ヘンリ・ナウエン
片岡 仲光訳

◎かえるの平家ものがたり 斉藤隆夫 絵

日野十成 文

◎聖人たちの知恵

M・デ・ブラバンデレ編・監修
倉田清訳

◎沈黙の春

レイチエル・カーソン著
青樹築一訳

◎知の逆転

ジャレド・ダイヤモンド他
吉成真由美訳

◎旧約の完成者 イエス

小河陽

◎マザーテレサ 日々のことば

ジャヤ・チャリハ、エドワード・レ・ジョリー

◎空の手で

C・D・メーステル
ほか

田園布教会の地区集会

二〇二〇年よりコロナ禍で休止となっていた地区集会が、昨年三年ぶりに再開しました。

以前は家庭集会としてそれぞれの地区で信徒の家に集まっていました。その後幾つかの地区が合同で教会に集うようになり、現在は四グループを形成し、それぞれ信徒会館で偶数月または奇数月に集会を行っています。

集会では神父様の講話を伺い、その後それぞれの地区で分かち合いや信徒連絡会の報告、地域の情報交換等の交流を行います。

当教会所属の信徒の方はどなたでも参加できます。また、地区の集会日に都合がつかない場合は他の集会に参加することができます。

参加を希望される方は、信徒会館受付にお申し出ください。

過去には他の教会にもあった地区集会(家庭集会)ですが現在では当教会のみとなりましたので、これからも地区集会としての繋がりを大切にしていきましょう。

教会委員会



2024年地区集会カレンダー（注：8月は休み）

	月	火	水	木	金	土
第1週			13:30～ 偶数月 (2・4・6・ 10・12月) 等々力地区 洗足・品川地区	13:30～ 偶数月 (2・4・6・ 10・12月) 田園調布4丁目 ・本町地区 鶯の木地区		
第2週						
第3週		13:30～ 奇数月 (1・3・5・7・ 9・11月) 田園調布1・2・ 3・5丁目地区 尾山台地区				
第4週					13:30～ 奇数月 (1・3・5・7・9・ 11月) 目黒・ 世田谷地区 奥沢地区、 多摩川地区	

※ 2023年9月より、各地区集会在新しい日程で再開されました。

※ (神父様の講話のあと、各地区に分かれて分かち合いを行います)

※ 当教会所属の信徒の方はどなたでも参加できます。

また、地区の集会日に都合がつかない場合は他の集会に参加することができます。

参加を希望される方は、信徒会館受付にお申し出ください。

大野集落と出津集落（外海地区）

写真・文 柳沢 洋子

昨年の五月に五島を巡る旅に出て、最後の小値賀島から佐世保までフェリーで渡り、長崎へたどり着きました。今は、まとめて長崎県の五島列島と呼ばれますが、古くは福江島を含む五分の三位が大村藩、小値賀島を含む北側が平戸藩の管轄でした。

大村藩も平戸藩も島の開拓のために、移民政策をとり、そこで多くの信者達が迫害を逃れる意図もあって、五島列島に面した長崎の外海地区周辺の集落から海を渡り移住した歴史があります。

又、正式な移住者ではなくとも、信者家族で夜半に小舟で渡った人も多かったと聞きます。移住はしたものの、元からの住民達には信者であろうと警戒されたので、隠れて信仰を守るために、島の中でも通いにくい、さらに言えば耕作地に向かない急斜面や山奥に行かざるを得ませんでした。

せっかく移住し、小さな信者集落で信仰を守り、厳しい開拓をしたものの、結局は討手が来て、殉教者も多く出しました。

そこで旅の終わりに、五島列島に渡った多くの信者達のふるさと、外海地区に向かいました。車なら長崎市内から一時間程度ですが、私は可能な限り公共交通機関利用派なので、バス二本を乗り継ぎです。

外海地区には遠藤周作文学館も道の駅もあり、夕陽を見る絶景ポイントと紹介されることも多く、訪れた方もいらつしやると思います。



私も十数年前に一度、文学館と出津教会には行きましたが、教会は閉まっていて内部を見ることができなかったのが心残りだったので、二度目の訪問となりました。



【 出津教会 】

今、出津集落と大野集落は「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」と言う長い名前の世界遺産の中に登録されているので、インフォメーションセンターにネットで事前予約すれば、内部に入ることが可能です。

今回、写真でご紹介するのは出津教会と大野教会ですが、両方とも明治十二年に長崎に赴任したド・ロ神父様が作られた教会で、どちらも強い海風に耐えられるように、屋根が低く設計されています。



【 大野教会 】

大野集落にある大野教会は出津教会（明治十五年建築）から、車でしたら五、六分ですが、徒歩では入り組んだ山や谷を越えることにもなるので、出津教会の巡回教会

として明治二十六年に建てられたそうです。どちらも小高い丘の上であり、海を見晴らすことができ、信仰を守るために五島に渡った私たちの信仰の先祖達のことを思っ
祈りました。



【 大野教会からの眺め 】

そしてインフォメーションセンターで時間の予約もしてあったので、係の信者の方が坂道をあえぎながら登る私たちに「ゆっくり、ゆっくり、急がなくても良いですよ」

と声をかけてくださるのでした。出津教会は教会まで車で行ける道があるのですが、大野教会は駐車場からも十分程度は徒歩で登ることになります。



もう一つご紹介しておきたいのは出津集落の中の「食べ処ヴォスロール」です。

ヴォスロールはド・ロ神父様の出身地のフランスの村の名前ですが、長崎市と姉妹都市です。

この食べ処は普通の一軒家ですが、予約しておけば集落の主婦達のグループが、ド・ロ様が開墾した畑から収穫した野菜、小麦、目の前の海からの魚を使い、ヴォスロール村や外海の家料理、手作りパンで食事を出してくれます。

私達が行った日は主催者のおば様一人でしたが、まるで親戚の家でご馳走になっているかのような様子でした。

その週は毎日天気が悪かったので、今日、魚がないといけなからと、昨日獲れたアジと黒鯛を燻製にしてあり、その日の朝に畑から採ってきた野菜でサラダとスープ、パンからデザートまで全て手作り。



【 食べ処ヴォスロールのランチ 】



食後にハーブティーにする？と言われてお願いすると、そのおば様が傘をさして庭に降り、ハサミで色々と摘んできて、ポットにハーブが直行です。大満足でつい長居をしてしまいそうだったのですが、一時間一本のバスに乗らなくてはならないので、お暇申し上げますと、バス停への近道の小道まで送ってくださいました。

出津にいらつしやるなら、道の駅も良いですが、ぜひこの食べ処ヴォスロールを予約することをお勧めします。

〈信徒連絡会〉

一月・二月・三月議題書 ※文中敬称略
日時 二〇二四年一月二十一日、二月四日、
三月三日 10:00～10:30

場所 大聖堂

祈り

今後の予定

一月二十一日(日) 信徒連絡会、

もちつき(対象：教会学校、BS、

OS 九時ミサ後)

14:30 田園調布地域諸教会合同祈禱会

ルーテル大岡山教会にて

二月四日(日) 教会委員会

二月十一日(日) 信徒連絡会

二月十四日(水) 灰の水曜日

三月十日(日) 信徒総会

三月十七日(日) 黙想会

三月二十四日(日) 受難の主日

三月二十八日(木) 聖木曜日

三月二十九日(金) 聖金曜日

三月三十日(土) 復活徹夜祭

三月三十一日(日) 復活の主日祭

典礼委員会

一月

◎ クリスマスマサへの協力ありがとうございます。プレセピオ設置、キャンドルなどコロナ前に近い形式で実施することが出来ました。皆さまのご協力を感謝いたします。

◎ 四つの賛歌が新しくなり、7:30、9:00ミサでの準備を開始します。

◎ 二月二十日 上野毛協会主催の朗読講習会に当教会からも朗読奉仕者の方を中心に参加いたします。

二月

◎ コロナ禍前にお祈りしていた第一日曜日の「召しだしを願う祈り」の再開を検討しています。

三月

◎ 聖週間に向かい準備しています。

◎ 三月二十三日(土) 十一時ミサ… 小見戸さん助祭叙階式が行われます。皆さまのお祈りを願います。

財務財政委員会

一月

◎ 教会の財政状況が厳しくなっています。月定献金など献金へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。現在昨年度決算及び本年度予算策定中です。

二月

◎ 先月、昨年度の決算と今年度の予算について財務財政委員会にて承認されました。一部の活動会につきましては、個別に訂正をお願いしておりますが、それ以外の委員会や活動会につきましては、今年度の予算は申請通りとしております。

◎ 年々教会維持費をベースとする予算の献金収入が少なくなってきました。教会全体の運営にも影響が出始めています。各委員会や活動会の活動を制限する予定はありませんが、活動での必要費用の見直しまで踏み込んで頂き、費用が出来るだけ掛からない工夫を検討頂きますようお願い致します。献金などで領収書が必要な方は予めご相談ください。

三月

財政が厳しい状況が続いています。引き続き、献金へのご理解、支出の削減、ご協力宜しくお願い致します。各会の清算是、各会の担当者経由でお願い致します。

福音宣教委員会

一月

◎ 十二月二十四日主の降誕夜半のミサにクリスマスカードの配布を実施。新規に印刷した新しい図柄のカード500枚と昨年のカード(神父様の名前欄にシールを貼ったもの)約500枚を用意し、ほぼ全部を配布致しました。

二月

◎ 初金懇話会…現在ミサのみを実施しており、スタッフを入れて二十人程度の参加。今後気候が暖かくなり、参加者の増加をみながら、懇話会の実施については検討中です

二月・三月

◎ イースターイベント①…待降節のオナーメント作りのように、お子さんを教会に通わせているお母さん方が

教会に親しんで頂くためのワークショップについて計画中。

- ◎ イースターイベント②…子供たちのためのイベントについて、教会学校、ガールスカウトと連携して実施することを計画中。

福祉委員会

一月

- ◎ 十二月十七日に行ったガザ支援募金をカリタスジャパンに送金いたしました。

- ◎ 久が原こども寮の子どもの自立支援の為に支援金をお届けいたしました。
- ◎ 能登半島地震に関して ①現地側の情報を集め今後の継続的な支援を検討

- ◎ ②一月二十八日、二月四日の主に募金をお願いを実施いたしました。募金は現地支援を開始している名古屋教区(被災教会支援)とカリタスジャパン(被災地域支援)に半額ずつ送金します。

二月

- ◎ 能登半島地震の支援の募金活動を一

教区とカリタスジャパンへ送金いたしました。

- ◎ 今月の福島野菜畑の販売は二月二十五日実施になります。皆さまの御協力よろしくお願いいたします。

三月

- ◎ 二月の福島やさしい畑の支援販売はお

- ◎ 天気悪く来所者は少なめでした。次回、四月二十八日開催予定です。
- ◎ 復興支援のための支援販売を行い、収益は活動費に充てます。

- ◎ 七月の予定の「ふれあい福祉バザー」に付いて検討を始めました。詳細は追ってご連絡いたします。

バザー委員会

一月・二月

- ◎ 二〇二四年の実施内容について復活祭後から検討を開始し、五月に第一回バザー委員会開催を予定します。

三月

- ◎ 五月にバザー委員会を行うために、四月にその準備を検討します。

環境部会

一月

- ◎ 十二月二十三日に落ち葉掃きにご協力いただいた皆様に感謝いたします。しばらく落ち葉の多い季節が続きますので、引き続き、ご協力いただけるようお願いいたします。

二月

- ◎ 二十七日に夏みかんを収穫し、以下のように配布いたしました。

山の家 25個、ケーキプロジェクト 30個、マーレードの会 100個
フランシスコ会日本管区 海外宣教事務局への献金のため修道院にもお分けします。

二十八日の配布 130個

頂いた献金は教会の会計に納付。

- ◎ ルルドのマリア様に供えられた食べ物、そのまま何日も放置されていることが散見されましたので土曜日の落ち葉掃きの際に清掃することとしました。他の方も、気が付きましたら片付ける等、ご協力下さい。

三月

◎ 中庭の枝の剪定を、当初二月五日、六日に実施の予定でしたが、天候不良のため、翌週、十三日、十四日および十七日に分けて実施、併せて樹木の消毒も行いました。

◎ 施設部会が二月中旬に行なった高木処理の中で、中庭のオリーブの木も伐採いたしました。脇に伸びている枝を大切に育てていきたいと思えます。

◎ 中庭の芝の育成を促すため、エアレーションを行う予定です。信徒の方で芝の手入れに知見やご経験のある方、また、ご興味のある方に是非とも協力頂きたくお願いいたします。日程は三月下旬から四月にかけて、暖かくなつてから実施する予定です。

ミサのライブ配信について

一月

◎ 二〇二〇年八月十五日の聖母被昇天のミサより続けていたミサのライブ配信について、新型コロナウイルスが

五類感染症に移行して半年以上が経過したことを踏まえ、十二月で一段落とし一月からは大きな祭日等で必要とするミサのみの配信とします。

◎ ここまでの配信数、視聴者数は左記の通りです。

配信した主日、祝祭日の日数 190日

配信した回数 440回

延べ視聴者数 13,252人

検討事項、経過事項など

① 黙想会(十一月十日)

十二月十日に予定通り待降節黙想会を実施いたしました。

当日は上智大学より酒井陽介神父様をお招きし、「ともに歩む教会」というテーマで一時間の講話をしていただきました。身振り手振りを交え、簡潔な言葉で、理解の難しい「シノドス」をわかりやすく説明いただきました。

その後、十分間の黙想、三十分の分かち合いを行いました。分かち合いは五六名ずつのグループに分かれ、大聖堂内で行いました。皆様、活発にお話を

していただき、よい時間になったと考えております。ファシリテーターとしてご協力くださった皆様、ありがとうございました。

② 窓ふき・大掃除(十二月十七日)

皆さまのご協力によりスムーズに行うことができました。ありがとうございました。

③ 二十歳の集い(二〇二四年一月七日)

二十歳になられた十四名の成人とご家族を迎え、ミサとお祝いの会が行われました。次代を担う成人たちは力強い誓いとそれぞれのことばで、新しい年を語ってくれました。引き続きホールでは、お二人の神父様の祝辞や自己紹介、また駆けつけた仲間たちと歓談し、笑顔に包まれたお祝いの会になりました。

(七〇名程度の参加)。皆様の知恵と力と相互の協力で良き会になりましたこと、感謝致します。

④ 田園調布諸地域合同祈祷会

一月二十一日(日) 14:30

ルーテル大岡山教会にて

田園調布、奥沢、尾山台などの地域に

ある日本基督教団、ルーテルなどのキリスト教など八教会から五十二名が集まり祈禱を行いました。献金は五団体に送金しました。

⑤ 信徒総会の予定

三月十日(日) 例年通り十時ミサ後に行います。信徒連絡会は当日書面開催とします。

⑥ 教会内での飲食について

コロナ禍対応の緩和にともない「弁当や茶菓子など適切な飲食については問題ない」とします。

⑦ 信徒会館空調修理について

現在の施設維持積立金を活用し三台中二台を置き換える方向で検討が進められ、その方針が承認されました。

⑧ 地区集会：一月三十一日新旧交代会

コロナ禍後、見直した地区で行う。

横浜・川崎地区は解散。ミサ後のアナウンス、はがきでの案内、田園への掲載、新人歓迎会などで周知を行っていく。

⑨ ドンボスコ社：聖品・書籍販売：三月

三日に販売が行われました。

⑩ 聖堂入口揭示板… 今後は教会委員会の判断で管理します。

⑪ 四旬節黙想会：三月十七日

わかちあいを組み入れ、9:30 講話開始を検討中です。追ってご連絡いたします。講話は、小西神父様(テーマ：シノドス) 十一時ミサ *ファシリテーター事前説明： 三月十日 12:30~

⑫ 防災訓練など… 現在検討中です。

緊急時に皆さまの頭部保護のため、座席の座布団を戻しました。

⑬ 二〇二四年度教会及び各会予算について 内容確認、承認されました。

⑭ 新人茶話会…

五月二十六日(日) 十一時ミサ後に新人歓迎茶話会を予定しております。

二〇一九年春を最後にお休みしていただきましたので五年ぶりの開催となります。

洗礼、転入、改宗の該当者が118家族158名プラス三月の洗礼者となり多数になりますので皆様のご協力をよろしくお願い致します。

⑯ 初聖体(六月二日)

新小学三年生の受洗者十名に案内状、申込書を発送致します。

申込締切 3/24

説明会 3/21

勉強会 4/7' 4/14' 4/21'

4/28

5/12' 5/19' 5/26

リハーサル、赦しの秘蹟 6/1

※ 本年度の世田谷南宣教協力体合同

聖信式：

上野毛教会の改修もあり、10/6に田園調布教会にておこなわれることとなりました。